

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第92回)

2019年10月～12月期 実績

2020年 1月～ 3月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
---------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

業種別D I 値について・・・・・・・・	5
----------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

全体D I 値について・・・・・・・・	9
---------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移

比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
-----------------------	----

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較

（中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）

第82回・2017年4～6月調査からは、依頼企業数を150社から270社へ増やすとともに、対象業種を6つに絞った（従来は10業種）。

これは、各地域・機関で行っている同様の調査結果と比較できるように工夫したもので、巻末に比較資料編を付けてある。

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2019年12月
- ② 調査対象期間 今期（2019年10月～12月期）に対する前期（2019年7月～9月期）及び前年同期（2018年10月～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	209	(77.41%)
輸送機器	40	→	35	(87.5%)
その他製造	40	→	35	(87.5%)
建設業	50	→	35	(70.0%)
卸売業	30	→	21	(70.0%)
小売業	40	→	35	(87.5%)
サービス業	70	→	48	(68.6%)

5. D I 値について

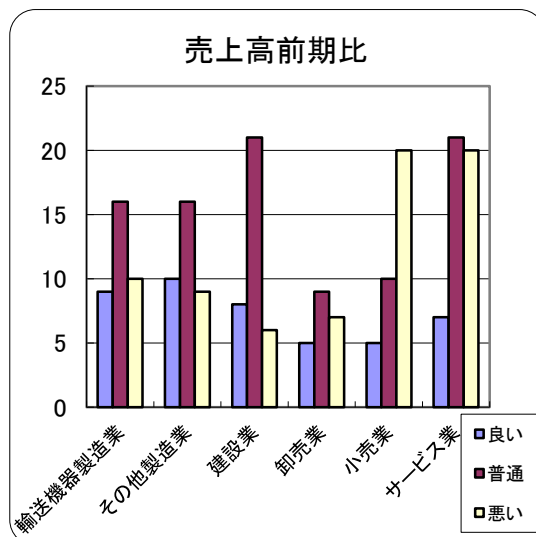
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

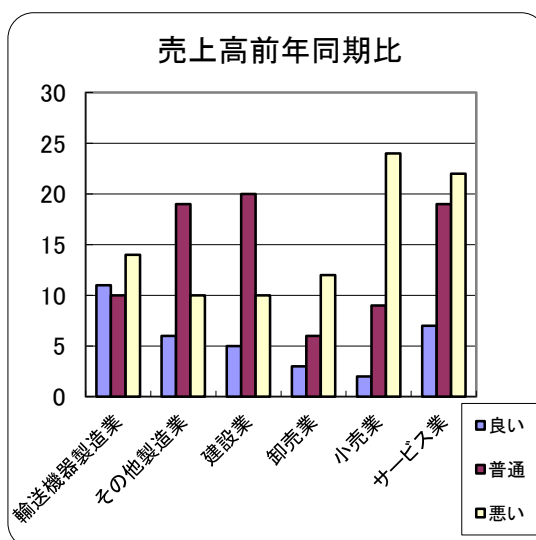
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	16	10	35	▲ 2.9
その他製造業	10	16	9	35	2.9
建設業	8	21	6	35	5.7
卸売業	5	9	7	21	▲ 9.5
小売業	5	10	20	35	▲ 42.9
サービス業	7	21	20	48	▲ 27.1
合計	44	93	72	209	▲ 13.4



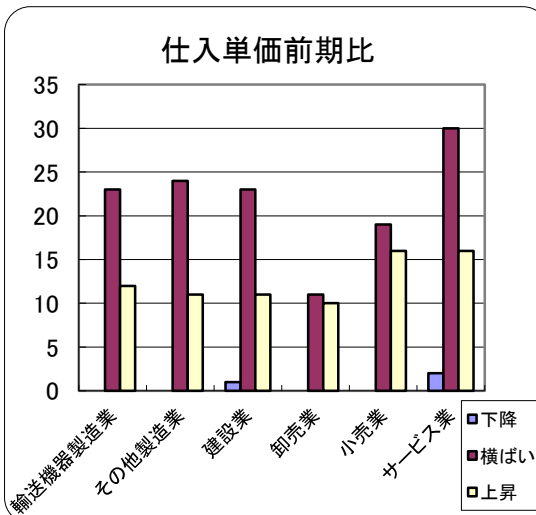
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	10	14	35	▲ 8.6
その他製造業	6	19	10	35	▲ 11.4
建設業	5	20	10	35	▲ 14.3
卸売業	3	6	12	21	▲ 42.9
小売業	2	9	24	35	▲ 62.9
サービス業	7	19	22	48	▲ 31.3
合計	34	83	92	209	▲ 27.8



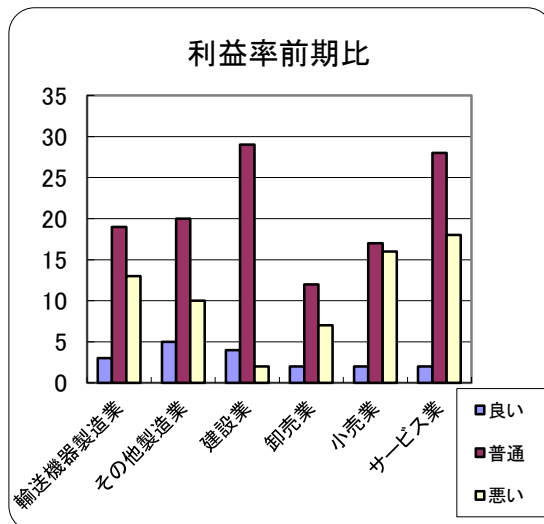
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	23	12	35	▲ 34.3
その他製造業	0	24	11	35	▲ 31.4
建設業	1	23	11	35	▲ 28.6
卸売業	0	11	10	21	▲ 47.6
小売業	0	19	16	35	▲ 45.7
サービス業	2	30	16	48	▲ 29.2
合計	3	130	76	209	▲ 34.9



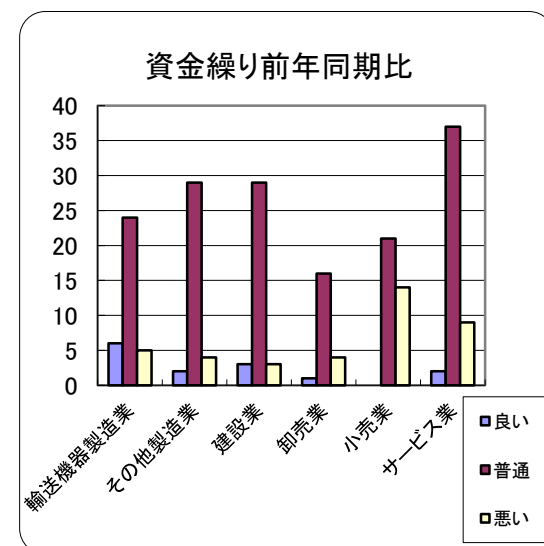
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	19	13	35	▲ 28.6
その他製造業	5	20	10	35	▲ 14.3
建設業	4	29	2	35	5.7
卸売業	2	12	7	21	▲ 23.8
小売業	2	17	16	35	▲ 40.0
サービス業	2	28	18	48	▲ 33.3
合計	18	125	66	209	▲ 23.0



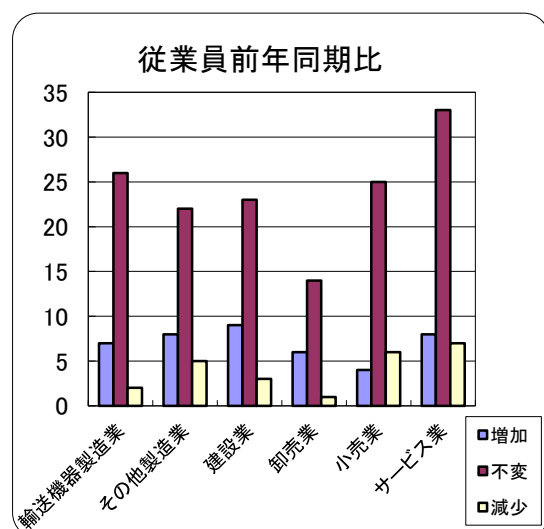
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	24	5	35	2.9
その他製造業	2	29	4	35	▲ 5.7
建設業	3	29	3	35	0.0
卸売業	1	16	4	21	▲ 14.3
小売業	0	21	14	35	▲ 40.0
サービス業	2	37	9	48	▲ 14.6
合計	14	156	39	209	▲ 12.0



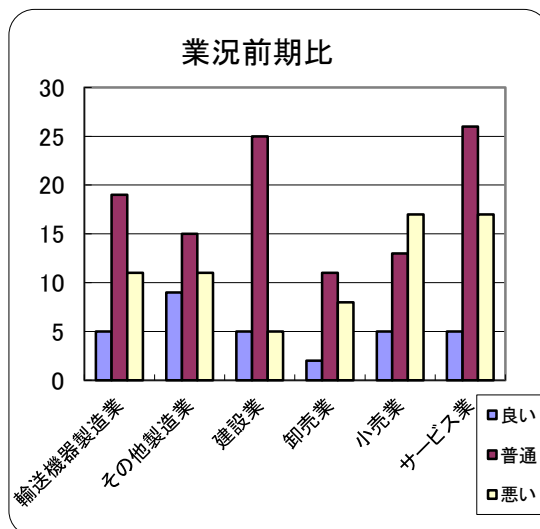
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	7	26	2	35	14.3
その他製造業	8	22	5	35	8.6
建設業	9	23	3	35	17.1
卸売業	6	14	1	21	23.8
小売業	4	25	6	35	▲ 5.7
サービス業	8	33	7	48	2.1
合計	42	143	24	209	8.6



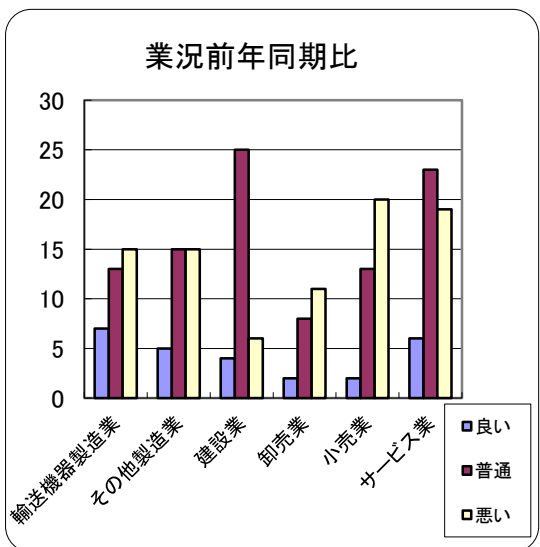
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	19	11	35	▲ 17.1
その他製造業	9	15	11	35	▲ 5.7
建設業	5	25	5	35	0.0
卸売業	2	11	8	21	▲ 28.6
小売業	5	13	17	35	▲ 34.3
サービス業	5	26	17	48	▲ 25.0
合計	31	109	69	209	▲ 18.2



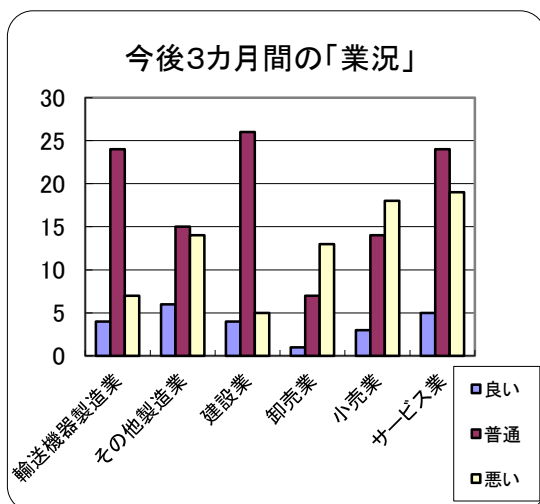
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	13	15	35	▲ 22.9
その他製造業	5	15	15	35	▲ 28.6
建設業	4	25	6	35	▲ 5.7
卸売業	2	8	11	21	▲ 42.9
小売業	2	13	20	35	▲ 51.4
サービス業	6	23	19	48	▲ 27.1
合計	26	97	86	209	▲ 28.7



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	24	7	35	▲ 8.6
その他製造業	6	15	14	35	▲ 22.9
建設業	4	26	5	35	▲ 2.9
卸売業	1	7	13	21	▲ 57.1
小売業	3	14	18	35	▲ 42.9
サービス業	5	24	19	48	▲ 29.2
合計	23	110	76	209	▲ 25.4



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(7～9月期)	今期(10～12期)	比較増減
売上高前期比	6.1	▲ 2.9	▲ 9.0
売上高前年同期比	9.1	▲ 8.6	▲ 17.7
仕入単価前期比	▲ 27.3	▲ 34.3	▲ 7.0
利益率前期比	▲ 12.1	▲ 28.6	▲ 16.5
資金繰り前年同期比	▲ 3.0	2.9	5.9
従業員前年同期比	27.3	14.3	▲ 13.0
業況前期比	0.0	▲ 17.1	▲ 17.1
業況前年同期比	3.0	▲ 22.9	▲ 25.9
今後3ヶ月間の業況見通し	21.2	▲ 8.6	▲ 29.8

[企業コメントより]

- ・目先の仕事は十分有るが、来年6月以降はわからない。量産品とは違う難しさがある。【金型治具】
- ・台風影響が非常に大きくなっており、挽回の見通しが立っていない。【部品製造】
- ・注文数減少、新規品来年より生産開始の為【部品塗装】
- ・台風による影響は予測できなかった。金属加工に携わる者には、報道以上の影響はでている様に思える。【部品製造】
- ・弊社の景況はメイン取引先の生産に影響を受ける。【部品製造】

その他製造業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.3	2.9	11.2
売上高前年同期比	▲ 30.6	▲ 11.4	19.2
仕入単価前期比	▲ 27.8	▲ 31.4	▲ 3.6
利益率前期比	▲ 13.9	▲ 14.3	▲ 0.4
資金繰り前年同期比	▲ 19.4	▲ 5.7	13.7
従業員前年同期比	19.4	8.6	▲ 10.8
業況前期比	▲ 22.2	▲ 5.7	16.5
業況前年同期比	▲ 36.1	▲ 28.6	7.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.4	▲ 22.9	▲ 3.5

[企業コメントより]

- ・ニットなので10～12月は最盛期になるため、前期に比べて売上高、利益率は上った。
 今後は(令和2/1～3)今期に比べて例年どおり悪くなると思われる(想定内)。【ニット製品製造】
- ・プラス要因がひとつもない。メーカーの在庫調整および減産の為。【プラスチック成型】
- ・受注の低迷により前年同期に比べて業績が悪化している。【板金加工】
- ・生産性向上の為に受注を控え、体制強化に注力している。【機械製造】
- ・当社の売上に関しては、前期に引き続きガス給湯器からの買い替え提案を中心に堅調な推移をみせている。【電気機器製造】
- ・キャッシュレス・消費者還元事業に期待する。【住宅内装品製造】

建設業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.9	5.7	19.6
売上高前年同期比	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 3.2
仕入単価前期比	▲ 33.3	▲ 28.6	4.7
利益率前期比	▲ 8.3	5.7	14.0
資金繰り前年同期比	▲ 8.3	0.0	8.3
従業員前年同期比	8.3	17.1	8.8
業況前期比	▲ 19.4	0.0	19.4
業況前年同期比	▲ 16.7	▲ 5.7	11.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.3	▲ 2.9	5.4

[企業コメントより]

- ・前期の実績が良かった理由として「消費税の増税」があげられる。納期が9月にできる案件はほとんどすべて完了できたからだと思う。感覚的な話で申しわけないが、業績は今までの一年が良かっただけで、これからは、また例年通りになるだけだと思う。【総合建設業】
- ・先行き不透明感があり、やや下降きみではないか【エクステリア工事】
- ・ゆるやかですが、10年前頃より堅調に伸びています。【建築塗装業】
- ・労働者不足【建設業】
- ・業務柄、今年の台風の影響がかなりあるかと思われます。【建設付帯工事業】

卸売業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.0	▲ 9.5	3.5
売上高前年同期比	▲ 17.4	▲ 42.9	▲ 25.5
仕入単価前期比	▲ 56.5	▲ 47.6	8.9
利益率前期比	▲ 13.0	▲ 23.8	▲ 10.8
資金繰り前年同期比	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 5.6
従業員前年同期比	26.1	23.8	▲ 2.3
業況前期比	▲ 34.8	▲ 28.6	6.2
業況前年同期比	▲ 34.8	▲ 42.9	▲ 8.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 52.2	▲ 57.1	▲ 4.9

[企業コメントより]

- ・消費税増税後、消費全体が悪化。酒類小売店等も高齢化に伴う販売圏の縮小が多く、廃業店が目立つ。今期(10～12月)後、倒産や資金面での閉店も多くみられる。【飲料等卸売】
- ・静観でしょうか。大きな動きはありません。【工具卸売】

小売業	前期(7～9期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 38.7	▲ 42.9	▲ 4.2
売上高前年同期比	▲ 25.8	▲ 62.9	▲ 37.1
仕入単価前期比	▲ 41.9	▲ 45.7	▲ 3.8
利益率前期比	▲ 45.2	▲ 40.0	5.2
資金繰り前年同期比	▲ 32.3	▲ 40.0	▲ 7.7
従業員前年同期比	▲ 9.7	▲ 5.7	4.0
業況前期比	▲ 29.0	▲ 34.3	▲ 5.3
業況前年同期比	▲ 45.2	▲ 51.4	▲ 6.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 45.2	▲ 42.9	2.3

[企業コメントより]

- ・街に来て買い物する客が少ない。何とかしなくてはならないが、来年度はもっと良くなるよう期待したい。【縫製資材販売】
- ・10月1日消費税アップでお客様の購買力が落ちていると思う。【食料品等販売】
- ・消費税が、単純に全ての経費に反映され、また人手不足の中、人員確保の為に人件費も上昇している。【化粧品等販売】
9月の売上は、駆け込み需要(こちらかからも仕掛けているが)の為、とても良かった分、10、11月に反動が大きく、12月を含めて前年に比べてマイナスである。【化粧品等販売】
- ・関西電力の件で歳暮の発注(注文)が減ってきている！発注件数の減少だけでなく、企業の中には歳暮自体を止めてしまっているところもある。【贈答品等販売】
- ・10月の天候不順と消費税の影響が大きい。特に消費税、キャッシュレス・消費者還元制度の不透明さ、いろいろな消費マインドの悪さを感じる。【衣料品販売】
- ・悪天候にやられました。【肉加工品販売】
- ・天候不順が売り上げに左右される。1月以降も寒くなると売上げも増加します。【酒類等販売】
- ・消費税アップや台風の影響あり。【和菓子販売】
- ・仕入価高、販売卸値安で苦労が続いております。今後ともこの傾向が続くと思います。経費大／利益小ですので今後3カ月間位は見通しが暗い様です。【米穀・雑貨販売】

- ・仕入単価がかなり上昇、10月の台風で花農家が大ダメージを受けている(千葉県)【生花等販売】
- ・消費税増税後、10、11月が特に悪かった。12月少し持ち直したと思う。【楽器販売】
- ・新しいシステムや、サービス内容の増加等に伴い、器機機材の購入。7月から毎月投資額が利益を上回っている。【化粧品等販売】
- ・店売は順調に推移しているが、ネット売上げがやや下降している。まだ消費税を10%に変えていないショップが多く見られ、特に買回り品がやや下降。セット品や説明で独自性を出していきたい。【趣味・嗜好品販売】

サービス業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.0	▲ 27.1	▲ 19.1
売上高前年同期比	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 11.3
仕入単価前期比	▲ 30.0	▲ 29.2	0.8
利益率前期比	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 13.3
資金繰り前年同期比	▲ 8.0	▲ 14.6	▲ 6.6
従業員前年同期比	▲ 8.0	2.1	10.1
業況前期比	▲ 12.0	▲ 25.0	▲ 13.0
業況前年同期比	▲ 18.0	▲ 27.1	▲ 9.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 20.0	▲ 29.2	▲ 9.2

【企業コメントより】

- ・弊社の景況感は主要取引先のそれに同調する形となってしまう。これをどう捉えるか、それがこれからの課題だ。【陸送業】
- ・今年は特に台風の影響により物価高となり、又10月からの消費税増税によりダブルパンチを食ったようだ。【軽食販売】
- ・消費税アップによる影響が顕著で、今後の景気後退が不安である。【広告代理店】
- ・消費税増税の影響は前回の増税時に比べて少ないです。このままで続く事を願っている。【レストラン】
- ・10月の増税に合わせクレジットカードの使用を開始し、お客様には好評だが、反面で資金繰りは悪くなる。
また、ペイペイの使用回数は10月以降格段に増えた。こちらは入金サイクルが早いので助かる。手数料も期限付きながら無料なのもありがたい。【レストラン】
- ・全体的にやや悪い【寿司店】
- ・2020年の業況見通しは若干見当がつきにくい。管理経費の縮小を念頭にやって行きたいと考える。【飲食サービス】
- ・受注残により見通しは(3か月)良い。【環境調査】
- ・今期は10月に増税がありましたが今のところは特に変化は無い。これから年末年始に向けて売上アップするように努力するしかない。【理容業】
- ・現在のリサイクル事業は、中国の動きひとつで左右される。米中貿易問題がクリアされなければ、中国は原材料を買わないため日本国内相場は低迷する。また中国の環境問題がクリアされなければ、再生原料の購入も増えないままとなり、これまた売上・利益が上がらない。このように事業は中国頼みとなってしまう為、今は様子をうかがうしかない。【金属リサイクル】
- ・キャッシュレス消費者ポイント還元の手続きをしたところ、結果的にはこれまでと変わらない売上を確保できているが、クレジットカード決済に3.3%の手数料がかかるので、利益・採算性としては以前と変わらずといったところである。
仕入も値上げが多くなっている折、採算が悪いクレジットカード決済の手数料も国で負担してもらえたらいいと思う。【飲食店】
- ・10月の台風により、人の出が少なかった。【居酒屋】
- ・増税してから客数が減った。野菜類の値段は落ち着いているが、まだまだ高い。競合店も増えた。【喫茶店】

(3) 全体DI値について

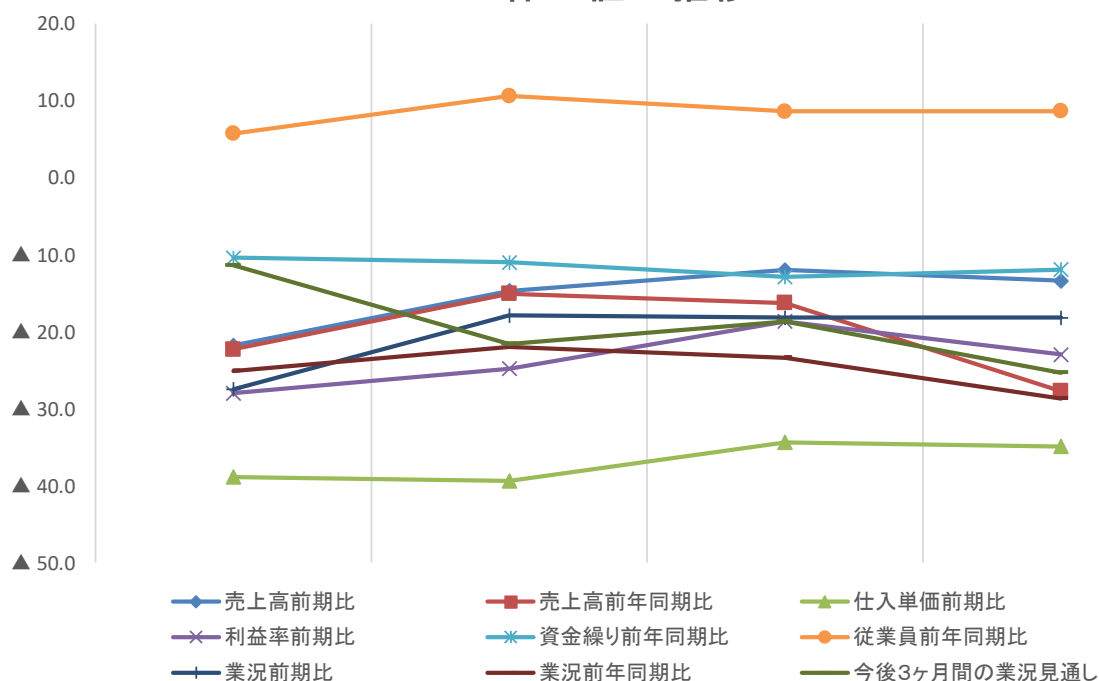
全 体 D I 値	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 12.0	▲ 13.4	▲ 1.4
売上高前年同期比	▲ 16.3	▲ 27.8	▲ 11.5
仕入単価前期比	▲ 34.4	▲ 34.9	▲ 0.5
利益率前期比	▲ 18.7	▲ 23.0	▲ 4.3
資金繰り前年同期比	▲ 12.9	▲ 12.0	0.9
従業員前年同期比	8.6	8.6	0.0
業況前期比	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0
業況前年同期比	▲ 23.4	▲ 28.7	▲ 5.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 18.7	▲ 25.4	▲ 6.7

(4) 動向について

- ・10～12月期の売上高DIを全産業ベースでみると、前期比では▲1.4ポイント、前年同期比では▲11.5ポイント、いずれも悪化方向にシフトした。これを受け業況DIは、前期比では変わらなかったものの、前年同期比では▲5.3ポイント悪化した。
- ・主な業種の業況DIを前期比でみると、建設業は水準を回復したものの、輸送機器製造は海外経済が弱含むなか、台風の影響による完成車メーカーの操業停止などがあったため低下した。また小売業やサービス業も台風と天候不順、消費税上げ等の影響により悪化超幅が拡大した。
- ・今後3ヵ月については現在の慎重な見方が継続し、全産業ベースで今期よりも一段の悪化を予想している。

全 体 D I 値 の 推 移	2019.1-3期	2019.4-6期	2019.7-9期	2019.10-12期
売上高前期比	▲ 21.8	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 13.4
売上高前年同期比	▲ 22.3	▲ 15.1	▲ 16.3	▲ 27.8
仕入単価前期比	▲ 38.9	▲ 39.4	▲ 34.4	▲ 34.9
利益率前期比	▲ 28.0	▲ 24.8	▲ 18.7	▲ 23.0
資金繰り前年同期比	▲ 10.4	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 12.0
従業員前年同期比	5.7	10.6	8.6	8.6
業況前期比	▲ 27.5	▲ 17.9	▲ 18.2	▲ 18.2
業況前年同期比	▲ 25.1	▲ 22.0	▲ 23.4	▲ 28.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 11.4	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 25.4

全体DI値の推移



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、10～12月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 22.6	－	－
建設業	5.7	▲ 7.9	－	－
卸売業	▲ 9.5	▲ 26.0	－	－
小売業	▲ 42.9	▲ 33.1	－	－
サービス業	▲ 27.1	▲ 18.5	－	－
全 体	▲ 13.4	▲ 22.2	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 10.0	－	▲ 22.8	▲ 1.8
建設業	▲ 14.3	－	▲ 1.4	0.3
卸売業	▲ 42.9	－	▲ 22.3	
小売業	▲ 62.9	－	▲ 37.6	
サービス業	▲ 31.3	－	▲ 15.8	
全 体	▲ 27.8	－	▲ 20.5	▲ 0.2

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 32.9	－	▲ 38.9	－
建設業	▲ 28.6	－	▲ 45.5	－
卸売業	▲ 47.6	－	▲ 34.5	－
小売業	▲ 45.7	－	▲ 37.1	－
サービス業	▲ 29.2	－	▲ 38.2	－
全 体	▲ 34.9	－	▲ 38.9	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 21.4	▲ 26.8	▲ 23.8	▲ 13.7
建設業	5.7	▲ 11.2	▲ 10.2	▲ 1.2
卸売業	▲ 23.8	▲ 27.5	▲ 23.6	
小売業	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 35.6	
サービス業	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 21.4	
全 体	▲ 23.0	▲ 26.2	▲ 23.4	▲ 4.7

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 1.4	▲ 14.3	▲ 11.7	13.0
建設業	0.0	▲ 3.0	▲ 4.6	18.0
卸売業	▲ 14.3	▲ 11.0	▲ 11.7	
小売業	▲ 40.0	▲ 22.0	▲ 20.8	
サービス業	▲ 14.6	▲ 12.7	▲ 14.3	
全 体	▲ 12.0	▲ 14.0	▲ 13.1	16.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	11.4	▲ 2.6	－	－
建設業	17.1	▲ 2.3	－	－
卸売業	23.8	▲ 3.4	－	－
小売業	▲ 5.7	▲ 5.3	－	－
サービス業	2.1	▲ 5.3	－	－
全 体	8.6	▲ 4.1	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

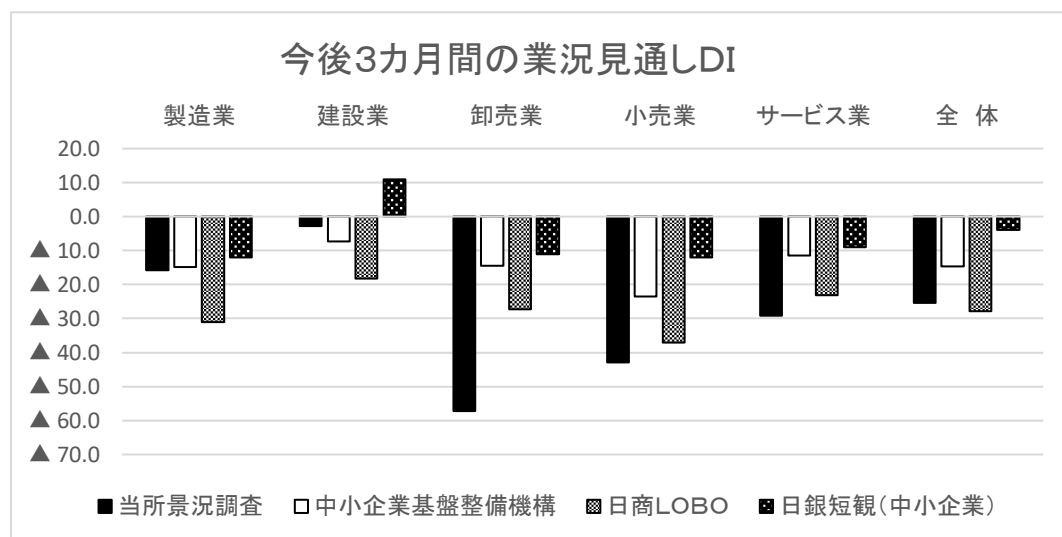
	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.4	▲ 22.4	－	▲ 9.0
建設業	0.0	▲ 5.5	－	24.0
卸売業	▲ 28.6	▲ 22.7	－	▲ 5.0
小売業	▲ 34.3	▲ 33.1	－	▲ 14.0
サービス業	▲ 25.0	▲ 17.3	－	▲ 15.0
全 体	▲ 18.2	▲ 21.1	－	1.0

⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 25.7	－	▲ 29.9	－
建設業	▲ 5.7	－	▲ 9.2	－
卸売業	▲ 42.9	－	▲ 29.2	－
小売業	▲ 51.4	－	▲ 40.5	－
サービス業	▲ 27.1	－	▲ 22.7	－
全 体	▲ 28.7	－	▲ 26.8	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 15.7	▲ 14.8	▲ 31.1	▲ 12.0
建設業	▲ 2.9	▲ 7.3	▲ 18.3	11.0
卸売業	▲ 57.1	▲ 14.4	▲ 27.3	▲ 11.0
小売業	▲ 42.9	▲ 23.5	▲ 37.1	▲ 12.0
サービス業	▲ 29.2	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 9.0
全 体	▲ 25.4	▲ 14.7	▲ 27.8	▲ 4.0



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2020年（令和2年）1月14日 発行